

【亜硝酸リチウムの浸透確認試験】

(1) ひび割れ注入工にて

- ・ひび割れ注入工法を施工した後の構造物から、φ100mmのコアを採取。
 - ⇒ひび割れの充填状況を確認（目視確認）
 - ⇒亜硝酸リチウムの浸透状況を確認（呈色反応試験）



ひび割れ注入材が
充填されている

ひび割れに注入された
亜硝酸リチウムが浸透
している(着色範囲)

- ・ひび割れの深部まで注入材が充填されていることを確認した。
- ・コア表面に呈色液(亜硝酸リチウムと反応して茶褐色に変色)を塗布することで、亜硝酸リチウムの浸透範囲を確認した。

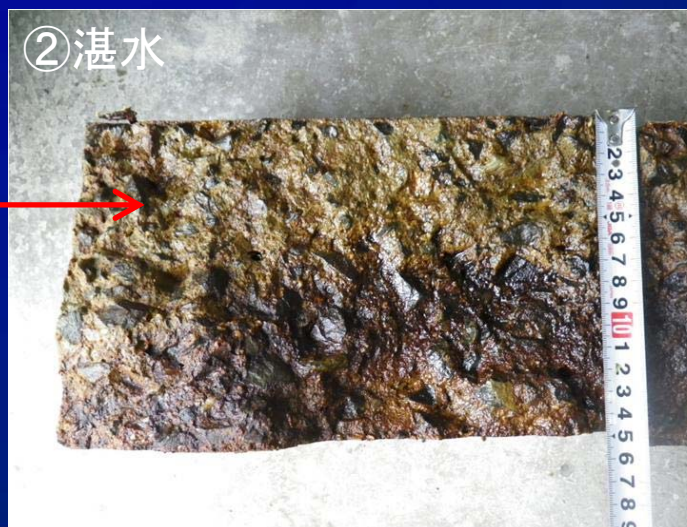
『注入材の充填状況』および『亜硝酸リチウムの浸透状況』を現場で確認することができる

(2) 表面含浸工にて

- ①コンクリート供試体表面に亜硝酸リチウム40%水溶液を塗布(0.3kg/m²)
- ②コンクリート供試体表面に亜硝酸リチウム40%水溶液を湛水(深さ20mm)
- ※5ヶ月後に供試体を割裂して浸透深さを測定(呈色反応試験)



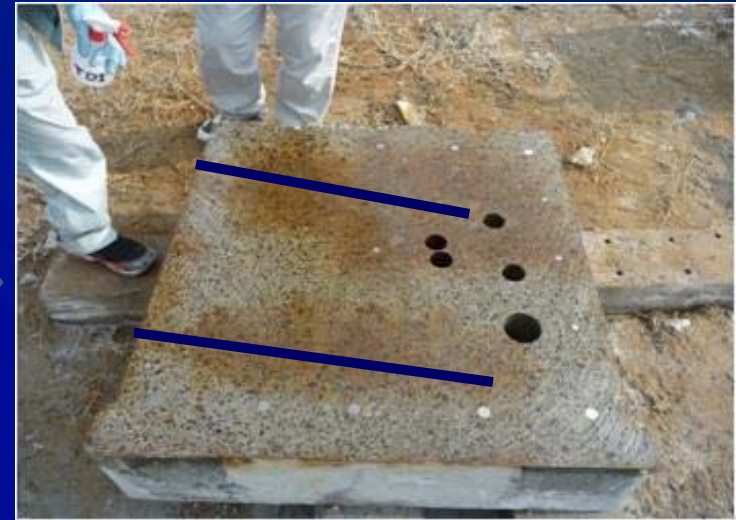
浸透深さ
20~30mm



浸透深さ
150mm

(3) 亜硝酸リチウム内部圧入工にて

油圧式



カプセル式

